

堺 市

「さかいLRT研究交流センター」開設
～堺市と大阪産業大学の共同事業で～



はじめに

平成17年9月5日、堺市の市街中心部に位置する山之口商店街に、「さかいLRT研究交流センター」（以下、センター）がオープンしました。当センターは、大阪産業大学と堺市の共同事業で設立しました。地元に着目してLRT*整備にかかわる調査・研究を行うための拠点で、パネルや映像の展示も行っています。

(※) LRT：ライト・レール・トランジットの略で、従来の路面電車の走行環境・性能等を大幅に改善した、人と環境にやさしい次世代型の路面電車

センター開設の経緯と目的

LRTは道路空間内を走行するという特性上、新規路線の整備に当たっては、既存交通（特に自動車）や、沿道住民・商店へ与える影響も大きくなります。そのため、LRTの整備を推進するためには、市民に十分な説明を行い、合意形成を図ることが重要です。

現在、堺市では東西交通軸の強化と、沿線まちづくりを支援・促進するため、臨海部～南海本線堺駅～南海高野線堺東駅～JR阪和線堺市駅を結ぶ東西鉄軌道をLRTで計画しています。

当センターは、LRTの啓発を行おうとする堺市と、市民との交流を行いながらLRT整備に関する調査・研究を実施したいという大阪産業大学が、お互いを補完する形で実現した共同事業です。

当センターを運営する大阪産業大学の研究活動を通じ、まちづくりや都市交通問題解決に対するLRT整備の意義を市民に理解してもらい、堺市の東西鉄軌道事業をより良いものとするのが、当センターの開設目的です。なお、堺市は当センターの部屋代や光熱費、内装工事費等を負担しています。

センターの機能

当センターには主に3つの機能があり、これらの機能を有機的に発揮することで、地域との協働を実現していきます。

①情報発信・提供機能

LRTとそれに関連するまちづくり、既存交通（阪堺線等）に関する情報を市民に対してわかりやすく発信・提供する機能

②情報収集・記録機能

LRT整備にかかわる各種情報・データを収集・記録する機能

③地域との交流機能

市民やまちづくり団体、商業会など関連する主体等と交流することで、LRT整備と研究を推進する機能

研究課題

センターの主な研究課題は以下の4点です。

- ①道路空間再配分に関する社会的コンセンサス形成に関する研究
 - ②L R T整備と中心市街地活性化の関連に関する研究
 - ③阪堺線等市内の既存交通との連携によるネットワーク形成効果に関する研究
 - ④L R Tの景観まちづくりへの寄与に関する研究
- 当センターの役割は、「まちづくりにL R T整備が果たす役割を市民にもわかりやすく説明し、社会的な合意形成を図る」ことを目的としていることから、単に分析結果を提示するだけでなく、地域との協働によりL R T整備にかかわる合意を能動的に形成しようとするものです。

今後の展開

堺市のL R T整備は、わが国最初の既存市街地道路への新線建設となる可能性が高く、極めて重要な先進的事例となることが期待されています。このことから、当センターは、今後以下のような主旨で研究を実施していきます。

- ①既存資料やアンケート・ヒアリング等により必要データの収集を行うのは当然であるが、研究過程および成果が、L R T整備のためのコンセンサス形成に資するよう、地域との交流を重視する中でデータを収集・分析し、また先導的な役割として能動的に人々の意識の変革をもたらすような地域協働的アプローチを行う。
- ②今後、全国的なL R T整備に資することができるよう、調査データを経年的に収集し、記録・データベース化を図ることができるよう進める。



センター概要

- 場 所：堺市甲斐町東2-1-10
- 施 設 名：さかいL R T研究交流センター
- 定 休 日：木・日曜日、祝日
- 開場時間：午前11時～午後5時
- 研究体制：大阪産業大学
人間環境学部
塚本教授、土橋教授、吉川教授
工学部
波床助教授、ペリー助教授
学生数名（常時）
- 電 話：072-222-6202
- E-Mail：sakai-lrt-sandai@nifty.com
- H P：http://homepage2.nifty.com/sakai-lrt-sandai